2010/10/29

第３８回　子どもの学びを作る会　資料

ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくり

６年　社会「明治維新をつくりあげた人々」の実践を通して

長門市立日置小学校

教諭　原田健一郎

１　授業の概略

(1) 目標

■黒船の来航、明治維新、文明開化、大日本帝国憲法の発布などに関心をもち、我が国の欧米の文化を取り入れつつ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、我が国の近代化に貢献した先人の努力を思う心情を育てる。

□会が資料や年表、写真、文章資料、関係図などの資料を効果的に活用して、黒船の来航や明治維新、文明開化、大日本帝国憲法の発布などについて調べ、調べたことを目的に応じた方法で適切にまとめることができるようにし、明治維新をつくりあげた人々の業績が、我が国の国家・社会の発展に果たした役割を考える力を育てる。

(2) 指導計画

①２枚の絵を比べてみよう。（２枚の絵の急激な変化から学習意欲を高める。）

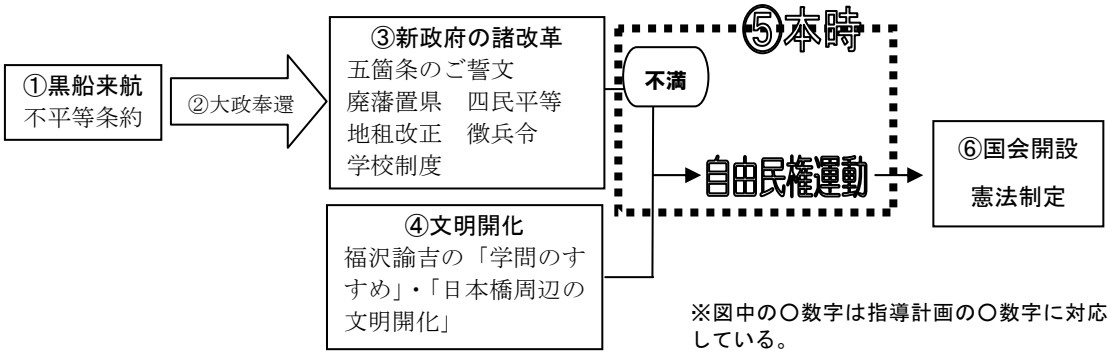
②若い武士たちが幕府をたおす。（若い武士たちがどんな国をつくろうとしたか。）

③新しい国をつくる。（明治政府の諸改革を調べる。）

④人々のくらしや考え方が変わる。（文明開化を調べ、くらしの変化をとらえる。）

⑤自由民権運動が広がる。（明治政府に対する社会の動きを調べ、自由民権運動の広がりを知る。）

⑥国会が開かれる。（国会開設・憲法制定の過程を人物の働きにそくしてとらえる。



※図中の〇数字は指導計画の〇数字に対応している。

(3) 本時のねらい

新政府に対する人々の不満が高まり、国会開設を求める自由民権運動として広まっていったことをとらえることができる。

(4) 授業におけるユニバーサルデザインの視点

焦点化 ○授業のねらいを明確化する

○本時のねらいや指導内容を絞る

・新政府が行った諸改革

・新政府に対する不満を確認する　この思いについて考える？調べる？

学校制度・徴兵令・地租改正→農民の不満

四民平等→士族の不満

藩閥政治→板垣退助・西郷隆盛の不満

・自由民権運動の内容について調べる

藩閥政治図→板垣と西郷が抜ける

学問のすすめ→自由の考えが広まる

○発問や指示を絞る

・カードを選択させ、カードにかかれた資料を手がかりに、誰がどんな不満をもっているか考える。

・「資料を見て、明治政府に対して、だれがどんな不満をもっているか考えましょう。」

視覚化 ○発問や指示内容を視覚的に提示する

○板書の構造化・情報の整理

○重要な内容を明示

共有化 ○同じ回答を繰り返すことで不安感を減らす

・前時までの学習内容で、本時に関係する内容を想起する活動の設定

○ペアでの情報の共有化

・グループで選択した資料について考える。

(5) 本時の流れ

（１）明治政府が行った諸改革を確認する。

（２）カードの資料を見て、誰がどんな不満をもっているかグループで考える。

（３）考えたことを発表し合い、新政府への不満についてまとめる。

（４）新政府への不満が自由民権運動になったことを知る。

２　協議の主な内容

・三つの視点から授業を考えてしまうと、その時間限りの単発的な学習になってしまうのではないか。問題解決の単元の流れの中に、三つの視点を生かした支援を入れていくことが大切ではないか。